

介護－仕事葛藤尺度（森本他，2017）

介護と仕事の両立生活について伺います。日ごろ、以下の事柄をどの程度経験するか、また経験する場合はそのことにどの程度困るかについて、最もあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。なお、「時々ある」「よくある」に○をつけられた場合は、右の困り度についてもご回答をお願いします。「ない」に○をつけられた場合は、困り度はご回答いただかなくて結構です。

	経験			困り度			
	ない	時々ある	よくある	困らない	少し困る	かなり困る	非常に困る
1 介護のために、長期出張ができない	0	1	2	0	1	2	3
2 介護のために、責任のある仕事ができない	0	1	2	0	1	2	3
3 被介護者の体調のために、仕事の調整をするのが難しい	0	1	2	0	1	2	3
4 被介護者の体調のために、仕事を途中で抜け出さなければならない	0	1	2	0	1	2	3
5 介護のために、仕事を休まなければならない	0	1	2	0	1	2	3
6 介護のために、仕事を減らさなければならない	0	1	2	0	1	2	3
7 被介護者のことが気になって、仕事に集中できない	0	1	2	0	1	2	3
8 将来的に、どれくらい介護に時間を割けばよいか分からず、仕事に集中できない	0	1	2	0	1	2	3
9 仕事中でも、被介護者のことを気にしていなければならない	0	1	2	0	1	2	3
10 デイサービスの送迎時間に合わせて、仕事から帰らなければならない	0	1	2	0	1	2	3
11 朝の出勤時に、被介護者をデイサービスへ引き渡さなければならない	0	1	2	0	1	2	3
12 出勤する時間とデイサービスの送迎の時間が合わない	0	1	2	0	1	2	3
13 会社が介護に理解を示してくれない	0	1	2	0	1	2	3
14 仕事のために、被介護者の体調の急変など突然の出来事に対応できない	0	1	2	0	1	2	3
15 工作中、被介護者からの連絡に対応できない	0	1	2	0	1	2	3
16 介護や仕事のために、自分の時間が持てない	0	1	2	0	1	2	3
17 介護や仕事のために、家の掃除などの家事に十分に時間を割けない	0	1	2	0	1	2	3
18 仕事と介護で、休みが取れない	0	1	2	0	1	2	3
19 自分の体調が悪くても、休むことができない	0	1	2	0	1	2	3
20 介護や仕事のために、睡眠時間が削られてしまう	0	1	2	0	1	2	3

● 下位尺度との対応

- 時間に基づく介護－仕事葛藤（1～6）、ストレス反応に基づく介護－仕事葛藤（7～9）、行動に基づく介護－仕事葛藤（10～12）、仕事－介護葛藤（13～15）、介護・仕事－私生活葛藤（16～20）

● 得点の算出方法

- 各項目について「経験（経験頻度）」と「困り度（困難性）」の得点を乗算し、下位尺度毎に合算または算術平均を求める。「経験（経験頻度）」に「ない」と答えた項目の「困り度（困難性）」得点は0点とする。

● 本尺度の引用文献

- 森本浩志・古田伸夫・河野光慧・壁谷真由美（2017）. 認知症高齢者の家族介護者の役割間葛藤の測定 心理学研究, 88(2), 151-161. <https://doi.org/10.4992/jipsy.88.16205>